

4 プラネタリウム

(1) プラネタリウムの構成

- ・ プラネタリウムドーム 直径 16m
- ・ 座席数 180 席
- ・ プラネタリウム機器
光学式投映機
(五藤光学 CHRONOS II)
デジタル式投映機
(五藤光学 VIRTUARIUM II)
- ・ 音響装置
- ・ コントロールコンソール
- ・ 補聴装置 (磁気誘導ループ方式)

(2) 各種投映

ア 一般投映番組

前半に星空解説、後半にオート番組の 2 部構成で投映を行った。星空解説部分については、職員による生解説で投映当夜の星空を紹介した。

(ア)「イナズマデリバリー バイザウェイの宇宙旅行?! ブラックホールとの遭遇」

宇宙人バイザウェイが銀河やブラックホールを経由しながらも地球を目指して宇宙を旅する 3DCG アニメーション番組。

投映期間 2024 年 3 月 13 日 (水) ~

7 月 12 日 (金) [前年度より継続]

(イ)「プラネタリウム ドラえもん 宇宙の模型」

スネ夫からハワイで見た満天の星に感動したという自慢話を聞いたのび太たち。満天の星を見た事が無いのび太は悔しがり、ドラえもん相談すると…人は太古の昔から星空を見て、それぞれに思いを巡らし、宇宙を理解しようとさまざまな「宇宙の模型」が作られてきたという話を聞き…。当館でも大人気となった番組。



投映期間 7 月 13 日 (土) ~ 9 月 16 日 (月・祝)

(ウ)「アポロストーリー 月への挑戦」

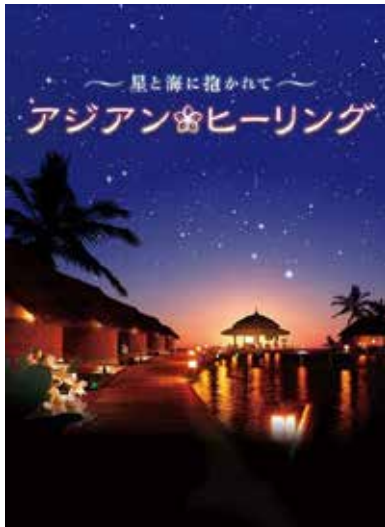
管制センターから宇宙船の乗務員と話せる唯一の人間(である)カプセルコミュニケーター:通称「キャプコム」と宇宙飛行士、アポロ計画に携わった 40 万人の物語を番組で紹介。



投映期間 9 月 18 日 (水) ~ 12 月 1 日 (日)

(エ)「星と海に抱かれて アジアンヒーリング」

星空きらめく南国のリゾート地を舞台に、神秘に満ちた映像と癒しの音色が視聴者を幻想的な世界へと誘う番組。



放映期間 12月3日(火)～3月23日(日)

(オ)「宇宙のオアシスを探して 奇跡の星への旅」

太陽系以外に、生命をはぐくむことのできるオアシスのような惑星はないのか…。系外惑星探査の現状と奇跡の星・地球の美しさを葉加瀬太郎氏の壮大な曲に載せて紹介する番組。



放映期間 3月25日(火)～[次年度継続]

イ ファミリーアワー

幼児から小学校低学年やその家族を対象に、プラネタリウムに親しんでもらう最初の一歩として毎週土曜・日曜、祝日及び学校長期休業中に実施。

全体の放映時間は40分間。前半は当夜の星空をわかりやすく紹介、後半の番組内では歌や掛け声を交え、参加しながら楽しめる内容。【全：107回】

(ア)「ほしのくにでみつけたたからもの」

たっくんは動物が苦手。飼い猫のキキが病気になったのは自分のせいだと思い込み、キキの友達(こぐま座のアル)とどんな病気も治すミルクを探しに星の国へ。十二星座も紹介する内容。【放映：44回】

放映期間 3月12日(火)～

7月7日(日)[前年度より継続]

(イ)「こぐま座のティオ 12星座のなかまたち」

星座村のシンボル：リトルスターがUF0に衝突されてバラバラに！そのかけらを探すため、こぐま座の男の子：ティオと個性豊かな12星座の仲間たちが冒険に出かけるストーリー。



放映期間 7月13日(土)～[次年度継続]

ウ 学習放映

小中学校の理科・天体学習の理解を深めるため、学校団体向けの放映を行うもの。当夜の星空を中心に、星座、惑星、太陽・月・星の動きなどを生解説し、学年に合わせたテーマ番組の放映を行った。また、熊本市立小学校は5年生時に集団宿泊教室を行うことから、目的地に向かう前に当館を訪れてもらい、その際にプラネタリウム放映を行っている。宿泊教室以外の「学校行事等」での利用にも応じている。各種番組の内容は以下のとおり。

学習放映番組一覧（下表以外の番組【放映 7 回】）

<p>【むしむし星空大行進】</p> <p>小学校 1・2・3 年生向け</p> <p>星座神話にちなんだ名前の昆虫たちを通して星や生物に親しむ内容で、四季の星座や太陽系の天体、南半球の星座などを紹介。</p> <p>放映回数：9 回</p>
<p>【スタジオ 444～空のフシギをさぐれ！～】</p> <p>小学校 4 年生向け</p> <p>教科書での学習内容に合わせ、月の見え方や星の明るさ、色の違い、時刻による見え方の違いなどを説明。</p> <p>放映回数：11 回</p>
<p>【星が見てきた KUMAMOTO】</p> <p>熊本市立小学校 5 年生時に行われる「集団宿泊教室」の事前学習として、宇宙の誕生から現在の熊本に至るまでの歴史を紹介。熊本における自然科学（天文学）についてもふれる内容。</p> <p>放映回数：7 回</p>
<p>【ポワンとフーニャンの宇宙調査隊 ～月と太陽のひみつ～】 小学校 6 年生向け</p> <p>教科書での学習内容に合わせ、月の見え方と太陽・月の位置関係、月と太陽の表面の様子の違いなどを説明。</p> <p>放映回数：2 回</p>
<p>【この空に願いをこめて…】 中学生向け</p> <p>教科書での学習内容に合わせ、日周運動、年周運動、月の公転と満ち欠け、太陽系の天体、銀河系、宇宙の構造などについて説明。</p> <p>放映回数：4 回</p>

エ 幼児団体向け放映

幼稚園や保育園などの幼児団体向けの放映を行うもの。放映時間は 40 分間で、星空の紹介（生解説）と幼児向け番組の 2 部構成。内容は、前述のファミリーアワーと同様である。【放映：34 回】

（ア）七夕特別放映

七夕をテーマに特別に構成した幼児団体放映を行った。放映内容は、七夕の星空解説と「七夕物語」の上映に加えて、幼児番組「ほしのくにでみつけたたからもの」を含めた 40 分間。

日 時 6 月 18 日（火）～7 月 5 日（金）

観覧者 2,846 名（105 団体）

オ 字幕付きプラネタリウム

プラネタリウムの放映は映像と音声で構成されており、聴覚に障がいのある人にとっては、通常の放映では内容が十分に伝わらない面がある。そこで、聴覚に障がいのある人も一緒にプラネタリウムを楽しむことができるよう、字幕付きプラネタリウムを実施した。字幕については、熊本県聴覚障害者情報提供センター、パソコン文字通訳グループ“らん”の皆さまにご協力をいただいた。

（ア）第 53 回字幕付きプラネタリウム

放映番組「イナズマデリバリー バイザウェイの宇宙旅行?!」

日 時 5 月 18 日（土）

① 12:15～ ② 13:30～

観覧者 ① 59 名 ② 41 名

（イ）第 54 回字幕付きプラネタリウム

放映番組「アポロストーリー 月への挑戦」

日 時 10 月 19 日（土）

① 12:15～ ② 13:30～

観覧者 ① 36 名 ② 48 名



(ウ) 第 55 回字幕付きプラネタリウム
 投映番組

「プラネタリウム ドラえもん 宇宙の模型」

日 時 3 月 29 日 (土)

① 12:15~ ② 13:30~

観覧者 ① 173 名 ② 172 名 (各回満席)

カ 特別投映

(ア) はじめてのわくわくプラネタリウム

熊本博物館と熊本市こども局主催の特別プログラム。赤ちゃん連れの方や、プラネタリウムを視聴したくとも遠慮している方々へ、少し短い 30 分間、出入りも自由で、気軽に参加してもらえるように企画したプログラム。

日 時 ① 5 月 29 日 (水)

② 6 月 1 日 (土)

③ 6 月 2 日 (日)

※ 各日 11:00~

観覧者 ① 34 名 ② 196 名 ③ 175 名

(イ) 七夕限定ファミリーアワー

団体向けに平日行っていた「七夕特別投映」を一般のお客様向けにアレンジしたプログラム。

梅雨時期と重なったこともあり、毎回多くの家族連れで賑わった。また、プラネタリウム前に設置した「七夕の短冊コーナー」では、折り紙の短冊で笹が見えなくなるほどたくさんの子どもたちが

願い事を書いて飾ってくれた。

日 時 ① 6 月 22 日 (土)

② 6 月 23 日 (日)

③ 6 月 29 日 (土)

④ 6 月 30 日 (日)

⑤ 7 月 6 日 (土)

⑥ 7 月 7 日 (日)

観覧者 ① 102 名 ② 179 名 ③ 145 名

④ 189 名 ⑤ 94 名 ⑥ 186 名

(ウ) 星降るドームで熊本の七夕とめぐりあう

当館の民俗学担当学芸員と協働して、学芸員の専門分野と星を絡めた講演会を行った。また、七夕投映の期間中は幼児を対象としているため、本講演会は大人の方も楽しんで頂けるイベントとして企画した。今回は、七夕当日の星空解説を「熊本の星座名」で行い、国の選択無形民俗文化財「八代・芦北の七夕綱」についての講演会を行った。

日 時 7 月 7 日 (日) 15:00~ (60 分程度)

観覧者 172 名 (満席)

講 師 湯川 洋史 (当館学芸員・民俗)

(エ) 十五夜限定ファミリーアワー

9 月 17 日が中秋の名月「十五夜」にあたるため、その前に家族でお月様を眺めるきっかけとなる、秋限定のファミリーアワーを企画した。

月の中のウサギという今昔物語を題材にしたスライド番組と十五夜当日の星と月の解説、そして幼児番組「こぐま座のティオ 12 星座のなかまたち」の投映を行った。

日 時 ① 9 月 14 日 (土)

② 9 月 15 日 (日)

③ 9 月 16 日 (月・祝)

観覧者 ① 73 名 ② 147 名 ③ 92 名

(オ) 熟睡プラ寝たリウム

全国一斉「熟睡プラ寝たリウム」の開催に合わせ、気持ちよく眠っていただくための高校生以上

対象の大人向けプログラムの投映を行った。

日 時 11月23日（木・祝）

15：00～16：00（60分間）

観覧者 116名

（カ）特別投映&天文講演会『ブラック星博士の九州征服計画 in くまもと & 明石市立天文学館・井上館長による楽しい星空解説』

明石市立天文学館の井上館長をお招きして、熊本では初めての井上館長とブラック星博士（一人二役）による爆笑天文教室。前半40分間は井上館長による楽しい星空解説（冬の星座など）。後半40分間はブラック星博士が登場し、ダジャレや天文クイズなどを繰り広げた。

日 時 1月18日（土）15:00～16:20

講 師 井上 毅 氏（明石市立天文学館館長・山口大学時間学研究所客員教授 兼ブラック星博士マネージャー）

参加者 172名（満席）